



第 174 号

平成 29 年 6 月 1 日
編集・発行
市来農芸高校広報係
いちき串木野市湊町 160
TEL (0996) 36-2341
発行責任者
校長 本村 信一

農業クラブ校内意見発表会

代表者は県大会へ

5月11日、農業クラブ校内意見発表会があり、県農業クラブ連盟各種発表大会「意見発表の部」に出場する3名を選出しました。

発表者は、生徒全員が提出した意見文の中から各クラス選出された人で、合計18名が発表しました。入学して一ヶ月程の1年生も中学校までに体験してきたことを交えながら農業に関する意見を述べ、2・3年生は日頃の実習やこれまでの様々な活動で経験したこと、考えたことを熱く語りました。発表内容や態度について、各科代表5名の先生方が審査員となり、点数をつけ、選考会にて各分野ごとの代表者3名を以下の通り選出しました。

☆分野Ⅰ類

『生産・流通・経営』

『私が考える農業のあり方』

3B 松木美樹 (米ノ津中出身)

☆分野Ⅱ類

『開発・保全・創造』

『食と私』

2D 黒瀬海夢 (出水中出身)

☆分野Ⅲ類

『ヒューマンサービス』

『中之島活性化計画』

3A 小林良介 (中之島中出身)



農業クラブ養豚班

『黒豚プロジェクト』

今年度、生物工学科の養豚班が、本校で飼育している「かごしま黒豚」の活用方法や需要を学ぶとともに、黒豚をもっと多くの人に食べてほしいという思いから、『市来農芸高校 黒豚プロジェクト』を始動させました。このプロジェクトは、いちき串木野市、山形屋、味工房みその、スターゼン加世田工場等の産学官連携でいちき串木野市の特産品をPRしていく活動です。

最近の主な活動としては、地元のトンカツ店「味工房みその」に本校の黒豚を提供し黒豚コースかつ膳・ヒシかつ膳を販売してもらいました。開店20周年に合わせた5月19〜21日の「感謝祭」では数量限定で提供され、6月以降は毎月20日に販売されます。(5/10読売新聞に記事掲載)また、その黒豚には「金の桜黒豚」とブランド名をつけました。本校は、黒豚の種豚を出荷できる県指定種豚場ですが、「市来農芸高校産」

を銘打つのは初めての試みです。(5/18南日本新聞に記事掲載)

今度も、6月10日に山形屋7階レストランで、「金の桜黒豚」を使ったメニューが提供されます。多くの方々に本校の黒豚を知ってもらい、味わっていただきたいと思います。



「金の桜黒豚」ポスター完成

P T A 総会開催

5月12日、P T A 総会が開かれ今年度の事業計画や予算等について審議・承認されました。『あったかい P T A』を目標に、これまでに2年間会長を務めてくださった吉永会長から新 P T A 会長、宮下裕治さんへと引き継がれました。この総

会をもって引退されました旧役員の方々、積極的に活動していただきましたありがとうございます。

- 平成 29 年度 P T A 役員 (敬称略)
- 会 長 宮下 裕治
- 副会長 入佐 京子
- 原田 江美
- 中野 留美子
- 久保 恵
- 池田 浩子
- 堤 正代
- 監 事 池田 浩子
- 堤 正代



新役員の皆さん

春季地区大会

5月9日、高体連日置地区大会が行われました。部員が少ない中、どの部も一生懸命、試合に臨みましたが上位入賞は厳しかったようでした。次の大会に期待しましょう。

☆剣道 個人3位入賞

3B 堀脇雄哉 (吹上中出身)

～農芸市場～

6月は、学校行事により20日、27日のみ
販売時間：14：00～

販売物

- <野菜>キュウリ、ズッキーニ 各袋 100 円
- <卵>・Lサイズ・・・220 円
- ・Mサイズ・・・200 円
- <肉類>・豚肉 (各 250 g 入り 420～500 円)
- ヒレカツ用、ロースとんかつ用、肩ロースとんかつ用、
- バラ焼肉用、しゃぶしゃぶ用 (バラ・モモ)
- <加工品>
- ・麦味噌 (1 kg) 350 円
- ・豚味噌、ちりめん味噌 (1 缶) 250 円
- ・ポメロジャム、イチゴジャム (1 瓶) 250 円
- ・梅ドリンク、みかんジュース (1 缶) 100 円
- <花苗>
- ・ハウスにて販売しています。



外部講師による出前授業

5月16日、生物工学科
動物バイオ類型の2、3年
生は、外部講師の全国和牛
登録協会鹿児島支部の福田
祐貴さんと今村清人さんの
授業を受けました。内容は、
黒毛和種の品種の特性や審
査標準に伴って牛の見方を
学習するもので、学校の牛
を例に説明をしていただき
ました。生徒達は、実際に
5頭の牛の評価をして、プ



ロの評価との違いを学習することができました。

1年生 農場実習 がんばっています

本校は、各学科でトウモロコシやキュウリ、ナス、トマト等、いろいろな野菜を栽培しています。1年生は、入学してから種まきや移植、植え付けを行ったナスに自分の名札をつけ、草丈の伸長や花の様子、実の生長を記録していきます。ビニールハウス内での作業もあり、夏場の実習は暑くて大変ですが、暑さ対策をしっかりとしながら頑張っています。



ダイコンの収穫

トウモロコシの開花



職員コラム

エネルギーを使った生徒指導

初任時代の生活指導は大変でした。喫煙問題。服装指導。暴力(けんか)等々。
現在の高校生には、服装の乱れは見られない。素晴らしい服装で登校してくる。学校職員、保護者の指導の成果であらう。

服装指導で思い出に残るのが「ルーズソックス」である。ある赴任した学校では、8割の女子がはいっていた。ビツクリした。こんな学校があるのか？指導はどうなっているのか？赴任当初からルーズソックスと女子生徒と自分の闘いが始まった。全校朝礼で、まず「脱がす」ことから始まった。「脱がない」無理矢理「脱がす」それを「預かる」「返さない」。毎日のように、見かけたら「注意して脱がす」これの繰り返しが始まった。廊下で見かけたら、授業中でも、実習中でも。そのうち女子生徒は、私の顔を見かけると「逃げる」。すると「追いかける」、これの繰り返し。段ボール箱に相当数のソックスが集まった。たかがソックスでこれだけのエ

6月の主な行事

- 1日(木) 校内農ク鑑定競技会
- 5日(月) 全校朝礼、服装容儀指導
- 6日(火) 重信川河川愛護活動
- 8日(木) 文字力テスト2
- 12日(月) 家庭クラブ総会
- 13日(火) ～14日(水) 農ク全国プロジェクト発表プレ大会
- 28日(水) ～1日(月) 期末考査

ネルギーを使ってきた。次第に生徒も改善してくるようになったが、完全ではない。2回目に赴任したとき、その段ボールが残っていた。未だにソックスが入っていた。懐かしくもあり、生徒指導の難しさを思い出した。
学校により差はあるが、最近「携帯電話、スマートフォン」がらみの問題行動が多いのではないか。いつの時代もその時その時の環境を反映した問題が発生する。苦勞が絶えない、終わることのない業務ではあるが、「生徒のことを思うと・・・」あるいは「生徒のために・・・」を胸にやるしかないのだろう。職員全員で取り組もう。生徒諸君、先生方に苦勞をかけないよう、普通に生活してください。(農業科 串田 勝)